

第10回キッズデザイン賞の概要

募集期間 2016年3月3日(木)～4月22日(金)

応募方法 キッズデザイン賞Webサイトにて応募受付。3月3日より応募フォームを公開します。

※ 応募フォームの記載以外に、製品ラインアップ、製品の機能性、研究・開発成果のエビデンスなどをPRしたい場合は、補足資料の提出が可能です(A4横・5枚以内を厳守)。
※ ご事情により郵送での応募をご要望の場合は、Webサイトより用紙をダウンロードし、4月22日必着で下記までご郵送ください(宅配便の受付は不可)。
[〒100-8779 日本郵便株式会社 銀座郵便局留 キッズデザイン賞応募事務局]

応募に関する留意点

- 2016年8月1日時点で日本国内で入手可能なもの(市場に出ている製品・サービス、竣工済みの物件、実施済みの活動など)を応募対象とします。調査・研究の場合は、2016年5月25日の第一次審査結果通知時点で成果が見られるもの。
- 応募者は、応募作品の主たる事業者(開発・製造元、施主、運営主体)とします。関係先との連名の応募も可能です。
- 大量生産でも手づくりの商品でも、一般の方が入手できるものであれば応募可能です。
- 事業や活動規模の大小は問いません。子ども目線・子ども基準に配慮されているかを審査します。
- キッズデザイン賞の応募規定に違反した場合、受賞を取り消す場合があります。

※ 詳しくは、キッズデザイン賞Webサイト「応募について」をご参照ください。

情報の取り扱いについて

応募資料は原則非公開とします。受賞された場合に公開する情報については、応募フォームに記載がありますので、ご確認ください。

審査料

第一次審査(書類審査)：無料

第二次審査(現物審査)：50,000円[税抜き]

● 自治体、ならびに国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合の審査料は10,000円[税抜き]となります。
※ 企業等との連名応募の場合、審査料は50,000円[税抜き]となります。

● 都内中小企業は、東京都による審査料補助が受けられます。

※ 「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門」が対象。

※ 応募フォームの所定の欄にて申込み受付。

※ 4月上旬に正式決定、詳細発表予定。詳細はキッズデザイン賞Webサイトをご覧ください。

● 作品カテゴリーが「調査・研究」または「復興支援」の場合、審査料を無料とします。

※ 内容によってはカテゴリーを変更いただき、第二次審査料が発生する場合がありますこと、あらかじめご了承ください。

最終審査：審査料は第二次審査料に含まれます。

応募・審査スケジュール (2016年)

応募受付期間 3月3日(木)～4月22日(金)

▼ 応募フォームよりご応募ください。

第一次審査(書類審査) 4月25日(月)～5月24日(火)

▼ 応募部門・カテゴリーなどが不適切とみなされた場合、ご変更をお願いすることがあります。「CSD認証」取得済みの製品・空間・サービスは第一次審査を免除します。

第一次審査結果通知 5月25日(水)

▼ E-mailでお知らせします(後日、書面を郵送)。

第二次審査(現物審査) 6月中旬～下旬

▼ 作品サイズや重量により、パネル・映像による審査となる場合があります。

第二次審査結果通知 7月8日(金)

▼ E-mailでお知らせします(後日、書面を郵送)。
※ 審査結果に関するお問合せには、一切お答えできません。

最終審査(最優秀賞など) 7月中旬

▼ 第二次審査を通過した受賞作品から、最優秀賞、優秀賞などを選考します。

最優秀賞など発表 8月29日(月)予定

▼ 記者発表会・表彰式を開催するとともに、キッズデザイン賞Webサイトで発表。

第10回審査委員

審査委員長

益田文和(インダストリアルデザイナー/オープンハウス 代表取締役)

副審査委員長

赤池 学(科学技術ジャーナリスト/ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

無藤 隆(教育心理学者/白梅学園大学 教授)

持丸正明(産業技術総合研究所 人間情報研究部門 研究部門長)

山中龍宏(小児科医/緑園こどもクリニック 院長)

審査委員

赤松幹之(産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター 首席研究員)

大月ヒロ子(ミュージアム・エデュケーション・プランナー/アイデア 代表)

竹村真一(文化人類学者/京都造形芸術大学 教授)

西田佳史(産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員)

橋田規子(プロダクトデザイナー/芝浦工業大学 教授)

ひびのこづえ(コスチュームアーティスト)

水戸岡鋭治(デザイナー/ドーンデザイン研究所 代表)

宮城俊作(ランドスケープアーキテクト/設計組織PLACEMEDIA・パートナー)

森本千絵(コミュニケーションディレクター/アートディレクター)

山中敏正(筑波大学 芸術系長・教授)

問合せ先

第10回キッズデザイン賞応募事務局

● TEL. 03-3549-0137 (平日10:00～17:00)

● FAX. 03-3549-1017

● キッズデザイン賞Webサイト www.kidsdesignaward.jp

● お問合せ専用メールアドレス 2016kids@kidsdesign.jp

※ 上記メールは問合せ専用です。

※ 上記メールに書類を添付しての応募の場合は、無効とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

KIDS DESIGN AWARD
10TH ANNIVERSARY

KIDS DESIGN AWARD 2016

第10回 キッズデザイン賞募集

募集期間 2016. 3/3(木) - 4/22(金)

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

後援：経済産業省、消費者庁

<http://www.kidsdesignaward.jp>

子どもや子育てに関わる人々の
生活を豊かにする
製品・空間・サービスを募集します。



KIDS
DESIGN
AWARD
2016

子どもや子育てに関わる人々の生活を豊かにする製品・空間・サービスを募集します。

大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能です。

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」、「子どもたちを産み育てやすいデザイン」の3つのデザインミッションから構成された顕彰制度です。

※キッズデザイン賞での「子ども」の対象は、0～15歳までを指します。



受賞作品は、キッズデザインマークを付けて、その成果を訴求することができます。(デザイン：佐藤 卓)

応募部門について

3つのデザインミッションに基づいた応募部門からいずれか1部門を選択してください。また、応募作品のカテゴリーを1つお選びください。

<応募部門>

1 Department	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門
子ども向け、あるいは一般向けの製品、建築・空間、サービスにおいて、子どもへの安全に配慮されたもの。	

2 Department	子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門
子どもの感性・創造性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に資する製品、建築・空間、サービスにおいて、新たな発想、工夫、手法があるもの。	

3 Department	子どもたちを産み育てやすいデザイン部門
親(妊婦含む)や育児に関わる人が利用する製品、建築・空間、サービスにおいて、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。	

<カテゴリー>

A プロダクト
ベビー用品/日用品/食料品/衣料品/玩具・一般遊具/大型遊具/文具/絵本/図鑑/教材/学習サービス/スポーツ用品/楽器/家電/AV機器/情報機器/光学機器/家具・インテリア/バス・トイレ/洗面台関連設備/キッチン・キッチン設備/エネルギー設備/空調設備等/住宅・建物付帯設備/建築部材・内装材等/店舗・オフィス機器/医療品・医療機器・福祉用品/防災防犯用品・サービス/モビリティ・モビリティ関連用品

B 建築・空間
保育園・幼稚園/学校/子育て支援施設/病院・医療関連施設/公共施設/ミュージアム/ショールーム・商業施設/個別住宅/量産住宅/集合住宅/屋内空間/リノベーション/ランドスケープ・コミュニティ形成/サイン計画

C コミュニケーション
アート・創作/ものづくり/音楽・演劇/運動・スポーツ/環境教育/グローバル教育/サイエンス/防災・防犯・セキュリティ/食育・くらし/経済・マネー/地域理解・地域交流/子育て支援/ワークライフバランス

D 調査・研究 ※審査料無料
児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。

E 復興支援 ※審査料無料
東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。

※D・Eは審査料無料。ただし、内容によってはカテゴリーを変更いただき、第二次審査料が発生する場合があります。

賞の構成と受賞事例

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。さらに、その中から最優秀賞、優秀賞、奨励賞などが授与されます。①～⑧は表彰部門、最優秀賞・各表彰部門の大臣賞は1点となります。

内閣総理大臣賞 (最優秀賞)	経済産業大臣賞(優秀賞)	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン [子ども部門] ② 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン [一般部門] ③ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン [クリエイティブ部門] ④ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン [リテラシー部門]
	消費者担当大臣賞(優秀賞)	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン [消費者育成部門]
	少子化対策担当大臣賞(優秀賞)	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 子どもたちを産み育てやすいデザイン [個人・家庭部門] ⑦ 子どもたちを産み育てやすいデザイン [地域・社会部門]
	男女共同参画担当大臣賞(優秀賞)	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 子どもたちを産み育てやすいデザイン [男女共同参画部門]

※他にも特別賞や奨励賞があります。

● 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



ベビーコロール：子どもが握りやすい形状で、なめでも安全な材質のクレヨン。中空構造になっており誤飲に配慮。(ブリグエ AG株式会社/株式会社ブンチョウ)



転倒流水防止構造つき電気ケトル PCH-G型：転倒の際の熱湯漏れ防止や、熱い蒸気を外部に出さない工夫が施された電気ケトル。(タイガー魔法瓶株式会社)



200gでみがける まがる歯ブラシ：歯磨き中の喉つき事故を受け、力が加わると曲がる機構を考案し、安全性を高めた。(株式会社DHL/有限会社アイ・シー・アイデザイン研究所)

● 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



STOCS(ストック)：紐を結ぶ行為から多くの造形が生まれ、できあがったもので遊ぶ楽しみもある、創造力と想像力を育む知育玩具。(株式会社 CAST JAPAN)



紙のワークショップ in 製紙工場：紙に親んでもらうため、工場見学や紙すきなど、紙に関わる多様なプログラムが楽しめる。(王子ホールディングス株式会社)



未来の読者を育てたい新聞を楽しく学べる施設 おもしろしんぶん館：新聞の製作プロセスをコンテンツとし、大胆かつ明快な空間で楽しく学べる。(株式会社 新潟日報社)

● 子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



皮膚体温計 H20 チビオン Touch：1秒で簡単に熱が測れる体温計で、おでこに手をあてて熱を測る母の手のひらをテーマにした優しいデザイン。(ビジョン株式会社)



「産院が街をつくる」ファミール産院 君津：ハード、ソフト両面において出産支援の配慮が見られる。(医療法人社団 マザー・キー ファミール産院 君津/株式会社ドムデザイン)



全国の保有不動産を活用したCSV取組「保育所誘致による待機児童1割解消プロジェクト」：自社物件に保育所を誘致し、子育てしやすい環境創出に貢献。(第一生命保険株式会社)